

153号新伊勢神トンネル工事

令和7年5月

監理技術者 長幡 侑樹

進捗率  27.1%

発生土も引き続き本洞地区へ運搬してまいります。

1,114.9m/1,900m

【計画工程表】

中部支店 新伊勢神トンネル作業所

[illegible]

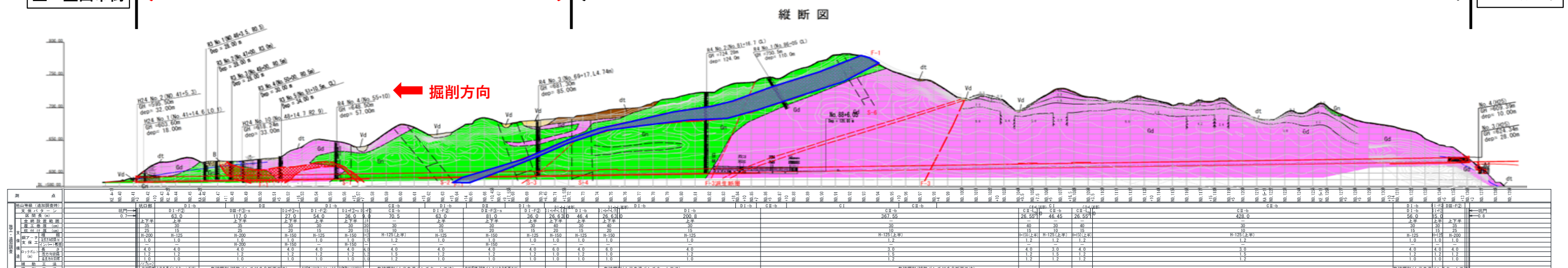
※ 現場状況によっては工程が変更になる場合があります。

【施工状況写真】



令和7年4月27日 撮影

至：飯田市



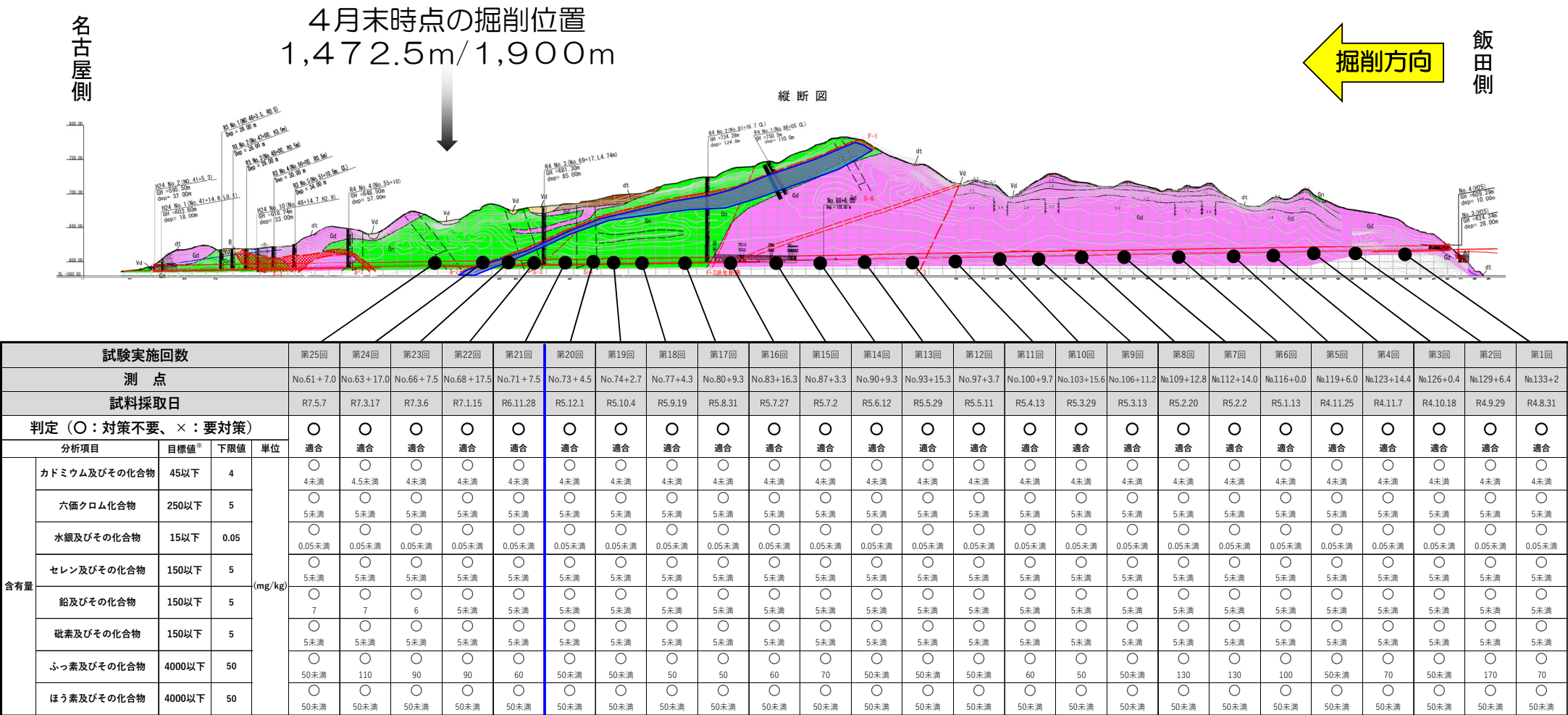
R7.4.30現在

覆工

凡例：青 前月迄、赤 今月、黒 前工事

トンネル掘削岩石、ボーリング状況(重金属等の含有量)

○現在のトンネル掘削区間では、1回/5,000m³の頻度で岩石を採取し、土壤汚染対策法に基づく含有量試験を実施しており、含有量試験結果では自然由来重金属等の基準超過はありません。



今回工事 前工事

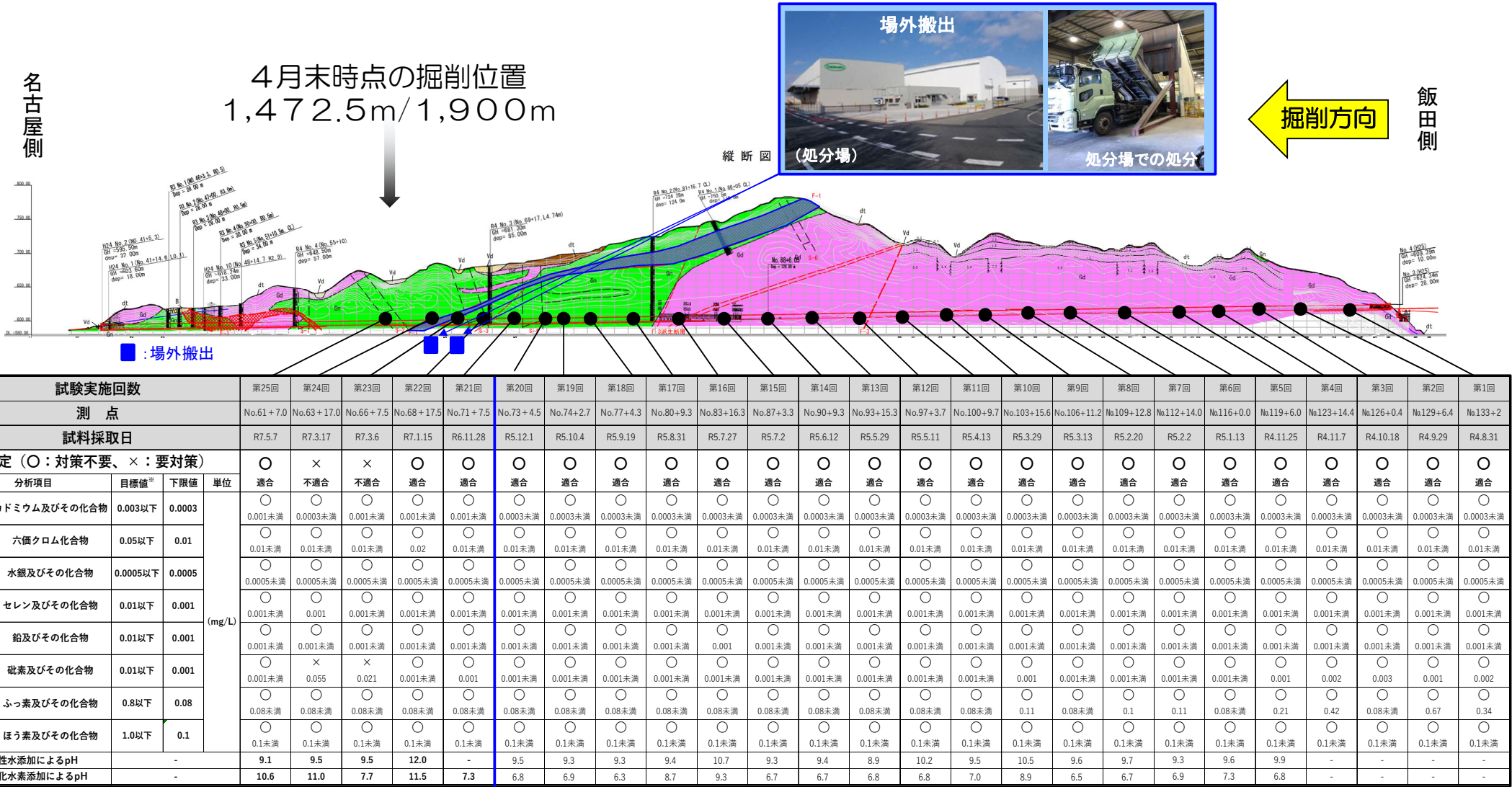
※ 目標値:トンネルの掘削岩石は、土壤汚染対策法の適用外となりますが目標値として土壌含有量基準値を設定してモニタリングを行っています

凡 例

○: 自然由来重金属等 基準内 ×: 土壌含有量基準超過

トンネル掘削岩石、ボーリング状況(重金属等の溶出量)

○現在のトンネル掘削区間では、1回/5,000m³の頻度で岩石を採取し、土壤汚染対策法に基づく溶出量試験を実施しており、溶出量試験結果で一部自然由来重金属等の基準超過がみられました。基準を超えた土砂は適切に処分しています。

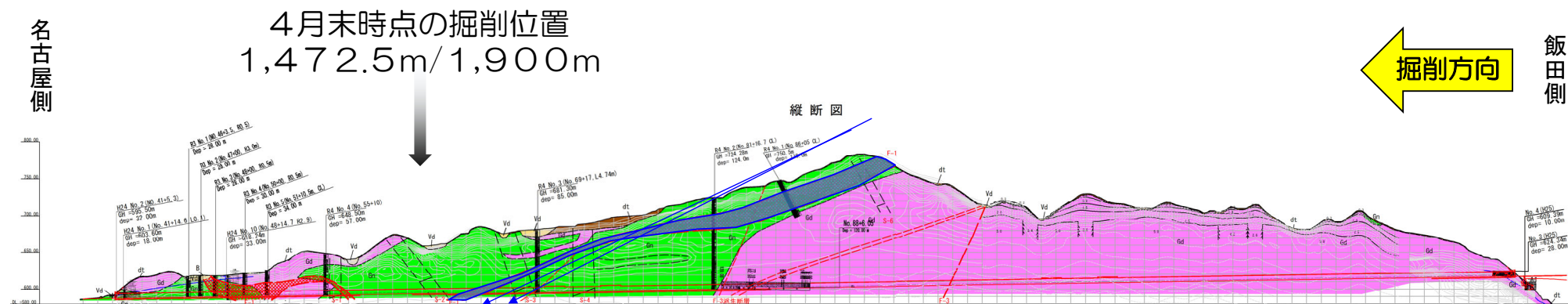


今回工事 | 前工事

※ 目標値:トンネルの掘削岩石は、土壤汚染対策法の適用外となりますが目標値として土壤溶出量基準値を設定してモニタリングを行っています
凡 例
○: 自然由来重金属等 基準内 ×: 土壤溶出量基準超過

基準を超えた土砂への対応について

- 本掘削に先立ち先進ボーリングを行い、どの地点で砒素が不適合となるかを事前に把握しながら工事を進めています。
- 今回確認された基準超過の土砂は、先進ボーリングにて事前把握し、汚染土壌処理施設へ場外搬出し適切に処分しております。



水質モニタリング状況(4月の水質調査結果)

- 水質モニタリングは、毎月残土処分場周辺で河川や沢水に重金属が含まれていないか確認するために実施します。
- 重金属等は、これまでに1回／1月の頻度で実施しており、これまでの分析結果では異常は認められていません。



地点名	地点概要	採水日	分類 (基準)	重金属項目							水素イオン濃度 (pH)	一般項目 (-)	判定	
			検査名	カドミウム	総水銀	セレン	鉛	砒素	六価クロム	ふっ素	ほう素	電気伝導率 (mS/m)		
			参考値※	0.003mg/L以下	0.0005mg/L以下	0.01mg/L以下	0.01mg/L以下	0.01mg/L以下	0.02mg/L以下	0.8mg/L以下	1mg/L以下	6.5～8.5		－
①	阿摺川	2025年4月		○ 0.0003 未満	○ 0.0005 未満	○ 0.002 未満	○ 0.005 未満	○ 0.005 未満	○ 0.01 未満	○ 0.05 未満	○ 0.05 未満	○ 7.1	- 5.68	○ 適合
②	段戸川			○ 0.0003 未満	○ 0.0005 未満	○ 0.002 未満	○ 0.005 未満	○ 0.005 未満	○ 0.01 未満	○ 0.05 未満	○ 0.05 未満	○ 7.2	- 3.20	○ 適合
③	沢水			○ 0.0003 未満	○ 0.0005 未満	○ 0.002 未満	○ 0.005 未満	○ 0.005 未満	○ 0.01 未満	○ 0.09	○ 0.05 未満	○ 7.5	- 12.44	○ 適合
④	沢水			○ 0.0003 未満	○ 0.0005 未満	○ 0.002 未満	○ 0.005 未満	○ 0.005 未満	○ 0.01 未満	○ 0.05	○ 0.05 未満	○ 7.5	- 8.00	○ 適合

参考値超過

※ 参考値：自然由来重金属・pHともに環境基準を参考値として設定し、モニタリングを行っています